

高校のあり方専門委員会 第1回会議の概要

★第1回専門委員会（2月27日）

【論点】 高校改革の基本的な方向性

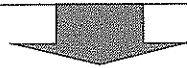
1 高校教育の現状と課題

【高校教育を取り巻く環境の変化】

- (1) 人口減少・少子高齢化の進展
- (2) 社会・経済のグローバル化、産業構造の変化等

【高校教育の将来的な課題（高校改革の必要性）】

- (1) 生徒数の減少により、将来的に学級規模が縮小する中で、教育水準の向上や機会均等を図る必要がある。
- (2) 産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した教育内容や教育体制の整備が求められている。



2 高校改革のめざす基本的な方向性

- ① リーダー性やグローバルな能力の育成 … 第2回テーマ案
- ② 社会経済の基盤を担う能力の育成 … 第3回テーマ案
- ③ 自立して社会生活を営む基礎的能力の育成 … 第4回テーマ案

【主な意見】

- 少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化等、子どもが夢を持ちにくい状況ではあるが、いかに前向きに物事を考えるのかといったことが重要である。
- 高校の3年間の主な目的が大学進学となっていないか。本当に大切なのは卒業後の社会人としての生き方である。
- 将来何をしたいのかということを見据えた上で、高校や大学を選択する必要がある、そのために高校までの成長の過程で自立することが重要である。
- リーダーシップやグローバルな能力の育成という観点からも、自立した子どもをいかに育てるのが重要である。
- 中学校ではキャリア教育として、様々な職場体験やいろいろな職業人から話を聞

く場をもっているが、実際に高校選択をする場合に、より個別の具体的な情報を収集し考えていくことが大切である。

- 人生のデザイン、働くことや社会人としての生き方のデザインというものが重要であり、このためには幅広い思考力や議論が重要である。
- 与えられた課題を解決する力はあるが考えることが苦手な子どもが多い。論理的思考力や自ら課題を見つけ自ら解決する力が不足している。
- 子ども同士のディスカッションは重要である。自分の意見を述べるだけでなく、他者の意見も聞き、互いに意見を戦わせ理解しあうことで一つの結論を見出していくことができるような場が必要ではないか。
- 最近の若者には自信がないため挑戦しつづける傾向がある。自信をつけさせるためにも、小中高の各発達段階に応じた成功体験は必要である。
- 知識を体験によって磨き育てていく教育が必要である。
- 高校生は、本来、大きな力を持っている。その力を教育方法や教育制度等と関連づけて発揮できるように教育ビジョンを考えていければよい。
- 高校で学んでいる知識を社会の中で関連づけさせるような教育方法や教育システムを考えるべきではないか。
- 自ら課題を見つけ解決していくような参考となる高校の実践例をもとに議論していきたい。

委員名簿

	氏名	役職名
1	委員長 加藤 直樹 (かとう なおき)	岐阜県教育ビジョン検討委員会委員 岐阜大学 総合情報メディアセンター 教授
2	高賀 敦子 (こうが あつこ)	岐阜県立大垣桜高等学校長
3	副委員長 嶋崎 吉弘 (しまざき よしひろ)	嶋崎公認会計事務所 所長
4	島田 亜由美 (しまだ あゆみ)	株式会社杉山製作所 代表取締役社長
5	高田 大嗣 (たかだ だいじ)	岐阜市立青山中学校長
6	中島 潤 (なかしま あつし)	岐阜県立岐山高等学校長
7	信田 哲彦 (のぶた てつひこ)	株式会社ナレッジデザイン 代表取締役社長
8	前谷 智香 (まえたに ともか)	有限会社マイトイ 代表取締役社長

資料1 中長期的な将来を見据えた高等学校の改革

第1回_岐阜県教育ビジョン検討委員会・高校の在り方専門委員会_H25.2.27

1 高校教育を取り巻く環境の変化

- (1) 人口減少・少子高齢化の急速な進展
 - ・長期の人口減少傾向と高齢化の進展により、地域を支える現役世代が大きく減少するとともに、子どもの数の減少が予測される
- (2) グローバル化、社会・経済及び産業構造の変化等
 - ・国際化に対応できる高い能力が求められる一方、非正規雇用の増加等、将来、社会経済の基盤となる若年層の雇用に不安がある

2 高校教育の将来的な課題

- (1) 生徒数の減少により、将来的に学級規模が縮小する中で、教育水準の向上や機会均等を図る必要がある
- (2) 産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した教育内容や教育体制の整備が求められる

中長期的な将来を見据えた 高校の改革が必要

国の動向

- 中教審初等中等教育分科会高等学校部会(H23.11～)
→ 高校教育の在り方を審議中(H24年度中に中間まとめ予定)
- 第2期教育振興基本計画(H24年度中に閣議決定予定)
- 教育再生会議(H25.1～)

3 県教育委員会における高校改革の進め方

第2次岐阜県教育ビジョン(H26-30)の策定

・ 県教育ビジョン検討委員会の設置 (参考資料) → 第1回会議の開催(H25.1.30)

県教育ビジョン検討委員会のもとに、

高校の在り方専門委員会を設置し、中長期的な視点で高校改革の方向性について意見を求める

→ 第2次岐阜県教育ビジョンに反映させ、H26年度以降の具体的な高校改革を進める

(参考) 県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業(H25年度新規) …「高校改革重点校」を指定し高校の構造改革をめざす

資料2 高校の在り方専門委員会における検討テーマ(案)

第1回_岐阜県教育ビジョン検討委員会・高校の在り方専門委員会_H25.2.27

～大きく以下の3つのテーマに整理して高校改革の方向性を検討する～

① リーダー性やグローバルな能力の育成

～リーダー性やグローバルな通用性のかん養、高い課題発見力、課題解決力の育成～

検討の観点例

- 世界や日本、地域社会でリーダーシップを発揮できる能力の育成
- グローバル社会で国際的に活躍できる能力の育成

② 社会経済の基盤を担う能力の育成

～高校段階の学力の定着・向上、体系的・実践的なキャリア教育の推進～

検討の観点例

- ふるさとを支える地域社会人の育成
- 多様な進路目標を実現するための能力の育成

③ 自立して社会生活を営む基礎的能力の育成

～コミュニケーション能力等の基礎的資質・能力の育成、共生教育の推進～

検討の観点例

- 多様な学習ニーズを持つ生徒への支援
- 多文化共生のための教育環境の整備